

日本共産党船橋議員団

ミニにゅす

日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005
 県会議員 丸山 慎一 ☎047-424-6347
 <市議団控室☎436-3030 FAX420-7201>
 市会議員

岩井友子 ☎438-8647 事務所☎429-2160 関根和子 ☎447-0557 事務所☎440-7950
 金沢和子 ☎422-5278 中沢 学 ☎493-8140
 坂井洋介 ☎404-2039 松崎さち ☎419-8470
 佐藤重雄 ☎432-9872 渡辺ゆう子 ☎462-7273

高齢者福祉の充実を…

「地域包括ケアシステム」に関連して

船橋市は、国が進める「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。

このシステムは、国が介護費や医療費を削減することを主眼に考えだされたもので、千葉市などは「年間の保険給付費」（健康保険や介護保険から支出するお金）が、30億円減らせる、などと試算しています。

船橋市でどれだけの額になるのかは「試算していない」という回答でしたが、20億円は超えるものになるとみられます。

保険からの給付費削減だけの結果にするとすれば、それは介護などを受ける高齢者へのサービスを「下げる」だけで終わることになります。

居住確保の保障に

「家賃補助を検討」

船橋市には、このシステムが、在宅介護を受ける高齢者が最善のケアの元にくらせるため「必要条件の一つ」居住の保障を求めてきました。が、今回初めて「家賃補助の検討」をすることを明らかにしました。

一歩前進とも見えますが、これを確実なものにするには、減額になる介護給付費に相当するだけの財源で手当てすることを求めて行きたい、と考えます。そうしなければ、ただの高齢者いじめになります。ねないからです。



世代間対立の思考は誤り!

高齢化率が高まっていくにつれて、「若者が高齢者の面倒を見ていく」という声がでています。以前は5人とか7人で1人の高齢者を支えてきたが、今は2人の現役世代が1人の高齢者を面倒見なければならぬという、思わせぶりなポスターなども見られます。この思考方法には、2つの点で「悪意」が感じられます。

一つは、生産力が圧倒的に大きくなっていくことに、目を向けず、現役世代の人数と、高齢者の人数を比較していることです。もう一つは、高齢者と現役世代の対立を煽って、高齢者福祉の財源削減をもくろんでいることです。12月議会ではこのことを市長に問いましたが、さすがに「悪意」に同調することはしませんでした。

このことは、これからの政策決定に大きく影響することになりますので、注目し続けなければなりません。

中学生 自衛隊への 職場体験学習の中止を！

自衛隊員の志願者が大きく減少する中で、自衛官募集もさまざまな手法で取り組みが強化されています。高校生宅への個別訪問は過去にも問題となり、当時の文部省と労働省が「行き過ぎた勧誘をしないよう」当時の防衛庁に申し入れが行われています。しかし最近になって、また再開されています。また、滋賀県高島市の市立中学校全校に「自衛官募集中」などと印刷されたトイレットペーパーが使用されていたなど、学校教育の場にも自衛官募集の手が伸びています。

自衛隊千葉地方本部でも自衛官募集業務の一環と位置づけて

職場体験学習を毎年実施しています。平成24年度から27年度の4年間だけでも市内の中学生259人が自衛隊の職場体験に参加しています。(表参照)参加した生徒は自衛隊松戸駐屯地や習志野駐屯地に行き、自衛隊についての講義を受け、集団行動・整列・行進等の基本動作を学び、施設見学などの体験をしています。

自衛隊と一般企業が同等？

今年9月19日、参議院で強行採決され成立した安全保障関連法(戦争法)は武力行使を可能とするものです。自衛隊は軍隊

となり、隊員が殺し殺される危険性が格段に高まっています。さらに自衛官は労働権が保障されず、自殺率も高く、家族への遺書まで書かされています。このような自衛隊を他の一般企業や職業と同等に扱うことはできません。

12月議会では、自衛隊への職場体験学習の中止を求めました。さらに、生徒を送り出す教師からは「受け入れてくれる事業所が不足」との声もあり、市

教委が市長部局と連携し、受け入れ事業部の開拓を行うよう求めました。

これに対し、教育長から「自衛隊は社会貢献活動の一環としてご協力いただいておりますので、職場体験先として問題があるとは考えていない」との答弁がされました。さらに学校教育部長からは「商工業団体や農水産業団体などと連携し、新たな体験先の情報を学校へ伝え支援する」との答弁がありました。

自衛隊において職場体験学習を行った生徒数

学校名	H24	H25	H26	H27
	人数	人数	人数	人数
船橋中	5	10	12	5
宮本中	5	6	0	4
若松中	0	0	0	7
海神中	4	3	0	4
行田中	—	—	3	4
法田中	9	9	10	5
旭中	12	13	10	5
飯山満中	1	0	0	0
七林中	4	4	0	4
三田中	—	5	5	10
三山中	0	10	0	0
高根台中	0	0	9	0
習志野台中	0	0	9	4
古和釜中	4	9	0	0
大穴中	4	5	8	11
豊富中	2	2	4	0

※— …資料が残っていない
※電話聞き取りと職場体験先一覧から指導課が作成した